

安全・安心な学校づくり交付金を活用しています

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律に基づき、「安全・安心な学校づくり交付金」の交付を受けようとする地方公共団体は、当該地方公共団体が設置する義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備計画を作成することとされています。府中市では、次のとおり施設整備計画を策定し、文部科学省から「安全・安心な学校づくり交付金」の交付を受け、事業を進めています。

1 計画名称

府中市公立学校施設整備計画

2 計画概要

本市においては、校舎等の老朽化が進行しており、学校の統廃合及び耐震化が重要な課題となっています。

東小学校、西小学校、岩谷小学校及び広谷小学校の4校を統合し、あわせて第二中学校を改築し、小中一体型の統合小中学校を建設します。これに伴い、グラウンドや芝生広場、自然を体験できるビオトープなどを整備するための屋外教育環境整備事業を実施します。

また、現在の建築基準法に改正される以前（昭和56年以前）に建築された学校施設は、校舎、体育館を含め47棟あります。耐震化事業実施による耐震化率の目標を小学校36.4%（現状23.8%）、中学校89.5%（現状72.7%）と設定し、耐震性の確保を図っていきます。

3 計画期間

平成18年度～平成20年度